

# JBL CAS-33

by HARMAN

## 取扱説明書

### 安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

**警告** この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

**注意** この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

- 禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
- 分解してはいけないことを示す記号です。
- 濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
- 触れてはいけないことを示す記号です。
- 水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
- 指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
- ACアダプタをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

### 警告

- ACアダプタは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。万一の場合、ACアダプタを容易に引き抜くためです。
- 船舶などの直流（DC）電源には接続しない。火災の原因になります。
- 電源コードを束ねた状態で本機を使用しない。火災・感電の原因になります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。電源コードが破損して火災・感電の原因になります。
- 濡れた手でコンセントを抜き差ししない。感電の原因になります。
- 長期間本機を使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜く。火災・感電の原因になります。
- ACアダプタを抜くときは、電源コードを引っばらない。電源コードが破損して火災・感電の原因になります。
- ACアダプタは、コンセントの根元まで確実に差し込む。ACアダプタを正しく差し込まずに本機を使用すると、火災や感電の原因になります。
- 不安定な場所や振動する場所には設置しない。本機が落下や転倒して、けがの原因になります。

### 本機の特長

- ◆ 高音質、2Way システムを採用
- ◆ ステレオミニ端子と RCA ピン端子の両方の外部入力に対応
- ◆ ヘッドホン出力端子を装備
- ◆ 高効率なデジタルアンプを搭載

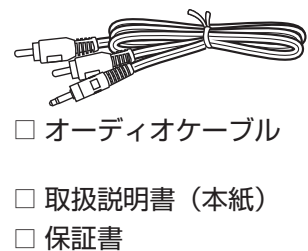
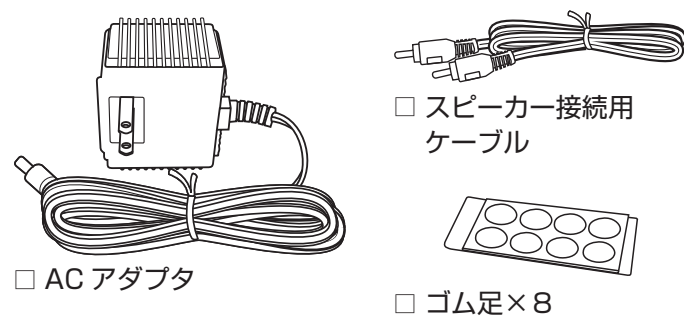
- 電源コードが破損した場合（芯線の露出や断線など）には、販売店または弊社東京サービスセンターに交換（有償）を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
- タコ足配線しない。発熱により火災・感電の原因になります。
- テーブルタップ（延長コード）を使用しない。発熱により火災・感電の原因になります。
- 雷が鳴りはじめたら、ACアダプタには触れない。感電の原因になります。
- ACアダプタの上に重いものをのせたり、ACアダプタを本機の下敷きにしない。ACアダプタが破損し、火災・感電の原因になります。
- 煙が出る場合、異常なおいや音が出る場合は、すぐに電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜く。煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社東京サービスセンターに修理を依頼してください。
- 水道の蛇口付近や風呂場などの濡れている場所や水気の多い場所では使用しない。火災・感電の原因になります。
- 本機の内部に水などが入った場合は、本機の電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜いて販売店または弊社東京サービスセンターに点検を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
- 日本国外で使用しない。ACアダプタの故障の原因になります。
- 本機の内部に異物を入れない。万一、本機の内部に異物が入った場合は、本機の電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜いて販売店または弊社東京サービスセンターに点検を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
- アルコール・シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しない。引火性溶剤が本機内部の電源部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 分解や改造をしない。感電の原因になります。
- 調理台や加湿器の近くなど油煙や湯気があたる場所に設置しない。火災・感電の原因になることがあります。
- 直射日光が当たる場所や、温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばなど）に設置しない。キャビネットや内部回路に悪影響が生じ、火災の原因になることがあります。
- オーディオ機器を接続するときは、それぞれその機器の取扱説明書に従い、指定のケーブルを使用して接続する。指定以外のケーブルを使用すると発熱し、やけどの原因になることがあります。
- 音が歪んだ状態で長時間使用しない。スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

### 注意

- 濡れた手でコンセントを抜き差ししない。感電の原因になります。
- 長期間本機を使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜く。火災・感電の原因になります。
- ACアダプタを抜くときは、電源コードを引っばらない。電源コードが破損して火災・感電の原因になります。
- ACアダプタは、コンセントの根元まで確実に差し込む。ACアダプタを正しく差し込まずに本機を使用すると、火災や感電の原因になります。
- 不安定な場所や振動する場所には設置しない。本機が落下や転倒して、けがの原因になります。
- ほごりや湿気の多い場所に設置しない。ほごりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となります。
- 不安定な場所や振動する場所に設置しない。本機が落下や転倒して、けがの原因となります。
- 移動するときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 薬物厳禁  
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また、接点復活剤を使用しない。外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

### 付属品

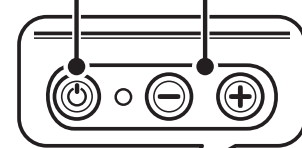
お使いになる前に、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。



### 各部の名称とはたらき

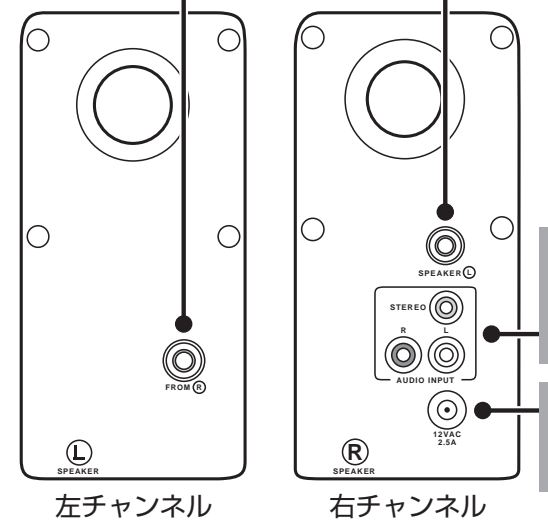
#### ▶ 本体上面・側面（右チャンネルのみ）

- 電源ボタン**  
電源がオンのときはLEDが点灯します
- + / - ボタン**  
再生音量を調節します



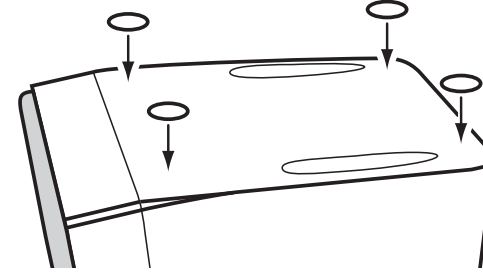
#### ▶ 本体背面

- スピーカー接続端子**  
付属のスピーカー接続ケーブルで接続します
- 音声入力端子**  
お手持ちのオーディオ機器やPCを接続します
- 電源端子**  
付属のACアダプタを接続します



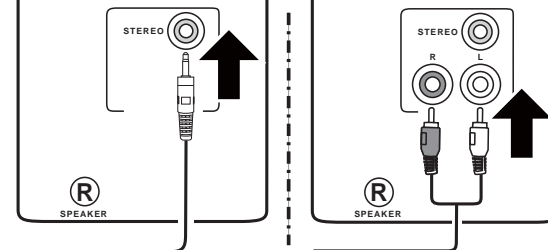
### ご使用前の準備

#### ▶ ゴム足をセットする



スピーカーの底面に付属のゴム足を貼り付けます。

#### ▶ オーディオ機器・PCを接続する



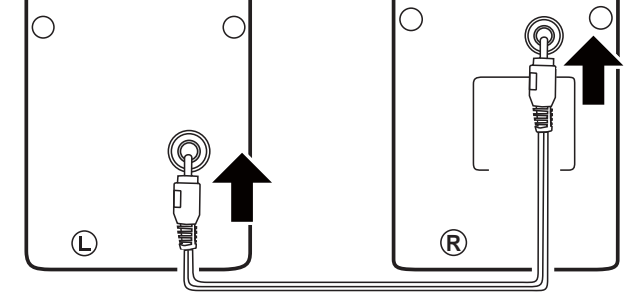
お手持ちのオーディオ機器・PCにRCAステレオ出力端子がある場合

- ① 付属のオーディオケーブルの3.5mmステレオミニプラグを右チャンネル背面の端子に接続します。（イラスト左）
- ② もう片方のコネクタをお手持ちのオーディオ機器・PCのオーディオ出力端子に接続します。

お手持ちのオーディオ機器・PCに3.5mmステレオミニ出力端子（ヘッドホン端子など）がある場合

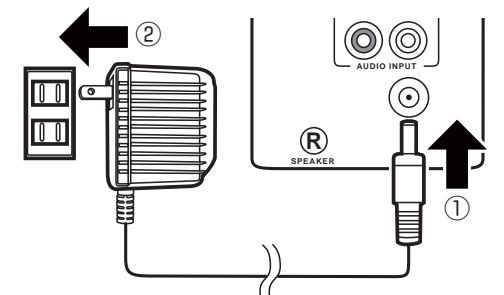
- ① 付属のオーディオケーブルのRCAステレオプラグを右チャンネル背面の端子に接続します。（イラスト右）
- ② もう片方のコネクタをお手持ちのオーディオ機器・PCのオーディオ出力端子に接続します。

#### ▶ スピーカー接続ケーブルを接続する



付属のスピーカー接続ケーブルを使用して、左右のスピーカーのスピーカー接続端子を接続します。

#### ▶ ACアダプタを接続する



- ① ACアダプタのコネクタを本機背面の電源端子に接続します。
- ② ACアダプタを壁面のコンセントに接続します。

## 音声を再生する

### ▶ 電源を入れる

- 本機右チャンネル上面の電源ボタンを押して電源をオンにします。電源がオンになると、LED が光ります。
- 再度電源ボタンを押すと、電源がオフになります。

### ▶ 音声を再生する

- 本機に接続しているオーディオ機器・PC で再生を開始すると、本機で音声再生されます。

### ▶ 音量を調節する

- 本機右チャンネル上面の+ / - ボタンを押して、本機の音量を調節します。
- + / - ボタンを長押しすると、音量をすばやく調節することができます。
- 音量を最小にしても、ミュートにはなりません。消音したい場合は電源ボタンを押して電源をオフにします。

#### ご注意

本製品は、パソコンと接続するなど、デスクトップで使用したときに最善の音質となるよう設計されております。再生するソースによっては、音量を上げ過ぎると歪みやノイズなどが発生する場合があります。

## トラブルシューティング

原因	解決法
本機右チャンネル上面の電源ボタンを押しても電源が入らない	AC アダプタが正しく接続されていることをご確認ください。
電源は入るが、音が出ない	接続しているオーディオ機器・PC の再生が一時停止になっていないかご確認ください。
	本機右チャンネル上面の+ ボタンを押して音量を上げてください。
	接続しているオーディオ機器・PC の音量設定が小さすぎる可能性があります。最大音量の7～8割に設定することをおすすめします。
オーディオケーブルやスピーカー接続用ケーブルが正しく接続されていることをご確認ください。	

## 主な仕様

定格出力	20W (10W × 2)	電源	AC アダプタ / 100V (50Hz / 60Hz)
スピーカー構成	3" Pure AL cone woofer with Shield Cover & 19mm PET dome tweeter	サイズ	幅 85mm × 高さ 181mm × 奥行 174mm
システム周波数特性	60Hz ~ 20kHz	重量	右 / 1.03kg、左 / 0.86kg (AC アダプタ除く)
入力インピーダンス	9.2 kΩ	付属品	AC アダプタ × 1 オーディオケーブル × 1 スピーカー接続用ケーブル × 1 ゴム足 × 8 取扱説明書 保証書 (日本国内 1 年保証)
SN 比	70dB 以上		
音声入力	RCA ピンステレオ × 1 3.5mm ステレオミニ × 1		
ヘッドホン出力	3.5mm ステレオミニ × 1		

\*仕様および外観は、製品の改良のため予告なく変更することがあります。

### ▶ オンラインご愛用者登録のご案内

この度は JBL 製品をご購入いただき誠にありがとうございます。弊社では JBL 製品のご購入者を対象に、ホームページ上にてオンラインご愛用者登録を行っております。ご登録いただいたお客様には、サポート情報やキャンペーン情報、新製品情報など JBL 製品の最新情報をお送りいたします。

### ▶ アフターサポート

日本国内のアフターサポートに関する情報は、ハーマンインターナショナル株式会社ホームページに掲載しています。

HARMAN

ハーマンインターナショナル株式会社

© 2010 Harman International Japan Co., Ltd. All rights reserved.